

# 令和3年度 学校教育自己診断アンケート結果報告

令和4年

宣真高等学校



## 実施状況

	1 生徒対象	2 保護者対象	3 教職員対象
実施日	令和4年1月8日	令和4年1月8日	令和4年1月8日
回収期限	令和4年1月29日	令和3年1月29日	令和4年1月24日
回答者数	793人(81%)	752人(77%)	33人(77%)

回答は、設問に対するA B C Dの四択式になっています。

設問の内容がよく当てはまる場合はA、やや当てはまる場合はB、あまり当てはまらない場合はC、まったく当てはまらない場合はDをそれぞれ選んでいただいています。

次ページからの集計結果一覧で、設問ごとにA B C D選択の実数と割合(%)を表示していますが、大きく把握するために『当てはまる=肯定的評価=A+Bの%』、『当てはまらない=否定的評価=C+Dの%』も併せて表示しています。小数点2位以下の四捨五入によって必ずしもA+BとC+Dの合計が100とはならない項目もあることをご了承ください。

①学校運営		A	B	A+B	C	D	C+D	
教職員	1	各分掌や委員会、学年間の連携が円滑に行われ、機能を果たしている。	27%	55%	82%	12%	6%	18%
	2	適性・能力に応じた役割分担がなされ、意欲的に取り組む環境にある。	21%	48%	70%	27%	3%	30%
分析と措置と目標		<p>校内の組織間の意思の疎通や制度としての機能性については、おおよそ高い満足度であるといえる割合だが、より積極性や取り組み力を発揮するにはまだ未完成的の部分がある割合ともいえる。業務の可視化や柔軟性のある運営方針、役割分担などを心がけて、個々の能力を現状以上に出し得る環境を整えたい。</p>						

②特色づくり		A	B	A+B	C	D	C+D	
教職員	3	女子校ならではの特色ある教育的指導がなされ、その効果が現れていると感じる。	30%	55%	85%	12%	3%	15%
	4	コース独自の授業やガイダンス等を、コースの目的に沿うものかどうか毎年見直して改善を図っている。	18%	61%	79%	15%	6%	21%
保護者	1	宣真高校は、他校にはない独自の教育活動に取り組んでいる。	37%	55%	91%	8%	1%	9%
生徒	1	コースやエリアの行事や授業には、他の学校にはない特色がある。	47%	44%	90%	8%	2%	10%
分析と措置と目標		<p>本校のアイデンティティに関する認識を問う設問であり、教職員はおおむね私立女子校として評価されるカラーを、作り出し、かつ保持しようという高い意識が見て取られる。保護者や生徒の認識も、宣真高校独特のサムシングに一定以上の評価と期待を寄せていることが感じられる。喜ばしいことにこの割合の高さは近年維持されていて、本校のコース制をはじめとすると設定や成果を推進させる、強い追い風となっている。</p>						

③学校生活・学校行事		A	B	A+B	C	D	C+D	
教職員	5	生徒は学校生活全般を楽しめているようである。	12%	52%	64%	30%	6%	36%
	6	文化祭・体育祭・校外学習などは有意義で生徒が楽しめるよう考えている。	18%	33%	52%	30%	18%	48%
保護者	2	学校生活は全般的に充実しており楽しいようである。	35%	49%	84%	14%	2%	16%
	3	学校行事は生徒が積極的に参加できるよう工夫されている。	26%	57%	83%	15%	2%	17%
生徒	2	学校生活は全般的に楽しく充実している。	30%	44%	74%	18%	8%	26%
	3	生徒同士や、先生と生徒の仲はよいほうである。	31%	50%	81%	15%	4%	19%
	4	学校行事（校外学習・体育祭・文化祭など）は積極的に参加できるよう工夫されている。	26%	50%	76%	20%	4%	24%
分析と措置と目標		<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、行事の中止・延期を余儀なくされたが、生徒たちはその中でも自分なりに楽しんでいるようである。保護者も子どもの日頃の様子を見て楽しんでいると判断しているようだ。生徒と先生の仲は昨年度よりも上昇しており、生徒との関係を築いていると考える。学校生活の日頃の悩みや不安を聞き、身近で様子を見ている立場としては、行事という機会の必要性を感じている数値ではないかと思われる。来年度は密を避けることを中心に、新型コロナウイルス感染防止に対応できる企画を各学年ごとに企画して実施していきたいと考える。</p>						

④家庭への発信・連絡		A	B	A+B	C	D	C+D	
教職員	7	保護者への連絡、または保護者からの相談について丁寧に対応している。	61%	36%	97%	0%	3%	3%
保護者	4	保護者からの質問や相談に適切に応じている。	40%	51%	90%	8%	2%	10%
	5	生徒の様子や状況について必要十分な連絡や報告がくる。	37%	44%	81%	16%	3%	19%
分析と措置と目標		<p>教職員の保護者への対応についてはかなり高い自己評価となっており、さまざまな事案についての連絡や協議の実績の跡がうかがえる。また保護者の側の評価も満足すべき割合であり、生徒の学校生活のありさまについては必要十分なやりとりがなされていることと推測される。ただ生徒に関する事象は千差万別であって、深く長期間に及ぶ保護者連絡が必要とされる場合もあり、家庭との緊密な信頼関係の重要性を再確認したい。</p>						

⑤学習状況・学力指導			
保護者	7	授業をとおして、さまざまな知識・技能が身についたと思える。	A+B 81%
生徒	5	先生の授業の内容・話し方は、わかりやすく聴き取りやすい。	A+B 75%
	6	授業を通して、さまざまな知識・技術が身についたと思える。	A+B 75%
<p>分析と措置と目標</p> <p>本項目においては、生徒の平素の感想が保護者の回答と大きく連動しており、本校の「コース」「エリア」の取り組みに対して、例年、一定の高い評価をいただいている。また、本校の「キャリア教育」への取り組みに対しても、高く満足もいただいている。</p> <p>また今後は、全教科授業において、ICT機器を駆使しながら「わかる授業」（視覚的アプローチ）や「積極参加できる授業」（アクティブラーニング）を実施し、生徒の理解速度に合った授業展開になるよう教授レベル強化を継続的に図っていく。</p>			

⑥不登校対応			
保護者	16	不登校の生徒についても進級・進路保障に関して細やかな配慮がなされている。	A+B 83%
生徒	16	辛くなったときに教室以外で学習できる居場所がある。	A+B 72%
<p>分析と措置と目標</p> <p>自分自身の中に抱える課題（人間関係構築及び体調面・心理面課題）と向き合いながら安心して登校を継続できる「過ごしやすい」カウンセリング室や保健室の環境がソフト面を中心に年々整備されており、各種の学校行事やコース行事に参加するカウンセリング室生の姿を頻繁に見かけるようになっている。また、ほぼ全員が定期考査・進路決定等を経て卒業を無事に迎えている。このような結果を生み出しているのは、生徒本人、保護者、カウンセリング担当者、担任、学年との間で、適時対応する連携が長年の制度実施により構築されてきていることが裏付けとなっている。</p>			

⑦進路保障・進路指導			A	B	A+B	C	D	C+D
教職員	12	学年・コースで進路指導について、しっかりした年間計画が立てられている。	15%	79%	94%	3%	3%	6%
	13	生徒一人一人の希望・適性をすくいとるように、こまやかな進路調査をおこなっている。	24%	64%	88%	9%	3%	12%
	14	生徒に対して、生き方や将来のビジョン・進路について考えるよう工夫している。	27%	61%	88%	9%	3%	12%
保護者	9	自分の生き方や将来を考えるような進路指導がされている。	32%	49%	81%	17%	2%	19%
	10	きめ細かい指導がされていて、説明会などの機会も適切に設定されている。	27%	51%	78%	19%	2%	22%
生徒	8	進路について、一人一人に適した丁寧な指導がされている。	34%	45%	79%	18%	4%	21%
	9	進路について、説明会や見学・研修がよく設定されている。	30%	51%	81%	17%	3%	19%
<p>分析と措置と目標</p> <p>今年度よりベネッセコーポレーションの基礎力診断テストを活用し、GTZによる学力指標と、生徒の生活状況についての調査を定期的に行うことができた。また、教員対象に年間3回ではあるが振り返り会を実施したことによって、模擬試験を活用することができたように思う。教職員の評価が高いのはそこに一因があると考え。今年度も新型コロナウイルスの影響から、外部イベントへの参加や幼稚園・病院実習などはほとんど行うことができなかった。また、保護者向けの進路説明会なども今年度は実施することが難しかった。少しでも進路の情報をと見え、毎月「進路だより」を発行したが、昨年度より保護者生徒の満足度は微増にとどまった。大学入試制度が多様化し、就職の指導も変わりつつある現状を鑑み、生徒個人に応じたきめ細やかな対応を心掛ける。次年度はこの2年間外部でのイベントに参加できなかった分、積極的に参加の可能性を模索していきたい。</p>								

⑧生活指導			A	B	A+B	C	D	C+D
教職員	15	生徒指導において、家庭との連携・説明・認識の共有ができています。	36%	55%	91%	3%	6%	9%
	16	問題事象に対して、学校全体で組織的な対応ができる体制がとれている。	36%	42%	79%	15%	6%	21%
	17	いじめの早期発見について、生徒の変化や動向を特に意識している。	36%	55%	91%	6%	3%	9%
保護者	11	学校の生徒指導（遅刻、服装、スマホなど）の方針に共感・納得できる。	32%	42%	74%	18%	8%	26%
	12	学校は、いじめや問題行動に対して真剣に対応している。	28%	54%	82%	15%	3%	18%
生徒	10	生活態度や学習態度などの基本的習慣の確立に力を入れている。	28%	50%	78%	18%	4%	22%
	11	先生は、いじめなど困っていることについて真剣に対応してくれる。	30%	47%	77%	17%	6%	23%
<p>分析と措置と目標</p> <p>生徒への設問10.11、また、保護者への設問11.12の8割程度の数字から、学校に対する生活指導面での理解は得られていると感じられるが、2割の否定的回答がある以上、規範意識を高めるためのさまざまな取り組みにおいて、日々の丁寧で分かりやすい声掛けをさらに心掛けたい。</p> <p>また、同設問における教職員の高い数字から見取れるのは、生徒のシグナルを感じるアンテナを張っているつもりでいる教員側と発信する側の生徒との多少のギャップがあるということ。さらなる積極的な関わりが必要であろうと思われる。</p>								

		⑨公共心・防犯・（防災）	A	B	A+B	C	D	C+D
教職員	18	すべての教育活動を通じて、社会規範や公共心・道徳心を大切にしている意識が育まれている。	30%	45%	76%	21%	3%	24%
	19	情報モラル・薬物濫用、交通安全について人権や健康・安全の観点から強く指導している。	52%	42%	94%	3%	3%	6%
保護者	13	学校は、命を大切にしている心や、社会のルールを守る態度を育てようとしている。	35%	56%	91%	7%	2%	9%
生徒	12	命の大切さや社会のルール・防災についての意識を積極的に育てようとしている。	37%	50%	87%	11%	2%	13%
	13	地震や火災などが起こったときに、どう行動したらよいか、知らされている。	34%	48%	82%	14%	4%	18%

分析と措置と目標

生徒への設問12.13においては、880万人訓練で行った防災訓練での映像学習や、各学年ごとに行った自転車講習等の各種講習会実施によって、高い評価を得ていると推測する。このように、一年を通じて実施される各種講習会であったり、各クラスで行われている朝終礼での整然とした雰囲気づくりや姿勢の徹底などが、規範意識を高めることにも繋がり、保護者から非常に高い評価を得ることに影響したものであると思われる。  
社会で生きゆく上で必要な知識を身につけるため、これからも、分かりやすい各種講習をすすめていきたい。

		⑩心と人権	A	B	A+B	C	D	C+D
教職員	20	生徒一人一人に対して、公平に、人権を尊重した対応をしている。	42%	45%	88%	9%	3%	12%
保護者	14	学校には、心身の悩みについて相談しやすい先生がいるようである。	30%	44%	74%	22%	4%	26%
	15	生徒の人権・プライバシーがよく守られ、尊重されている。	34%	53%	88%	10%	2%	13%
生徒	14	悩みや相談に親身になって答えてくれ、気軽に相談することができる先生がいる。	27%	34%	61%	26%	13%	39%
	15	人権の大切さを学んだり、考えたりする機会がある。	30%	50%	79%	16%	4%	21%

分析と措置と目標

【保護者 設問15】では88%の評価があり、保護者への密な連絡による信頼があると考える。一方【設問14】では【保護者】は74%、【生徒】は61%と開きがある。新型コロナ感染予防策により、生徒と学校で密な関係を築くことができなかったことが背景にあるのではないかと考えられる。今後さらに積極的に生徒と時間を共有し相互理解を深化させ、保護者との連携もさらに密にする。【教職員 設問20】では88%の評価がある。人権HRや日々の指導を通して行われる人権教育で問題を共有できることが評価されていると考える。今後も教職員は人権意識を高め、生徒にフィードバックできるよう研修等を重ねる。

		⑪学校設備	A	B	A+B	C	D	C+D
教職員	23	ICT機器・教材を活用した授業方法について、意欲的に研究・実践している。	24%	52%	76%	15%	9%	24%
	24	学校の施設・設備・備品など、快適な教育環境をととのえるよう努力されている。	24%	48%	73%	18%	9%	27%
保護者	17	学校の施設・設備は教育環境として適切に整っている。	55%	38%	93%	6%	1%	7%
生徒	17	ICT機器・教材をうまく活用した授業が行われている。	38%	45%	82%	14%	3%	18%

分析と措置と目標

各教室へのプロジェクター設置など急速に整備が進んだ1年であった。保護者・生徒の満足度が高いことはありがたいことである。  
教職員の満足度が生徒・保護者に比べて低いのは、授業においてまだまだ活用の余地があるという認識の表れだと考えている。  
タブレットの使用は「積極的に授業に参加する」ためには、大変有効なものなので大いに使用していただきたいと思う。

		⑫特別活動	A	B	A+B	C	D	C+D
教職員	25	クラブ活動について生徒が生き生きと取り組めるよう指導している。	45%	45%	91%	6%	3%	9%
保護者	18	学校はクラブ活動や学級活動をはじめとする特別活動に力を入れている。	42%	49%	90%	8%	1%	10%
生徒	18	クラブ活動は活発で積極的に行われている。	51%	36%	87%	10%	3%	13%

分析と措置と目標

A+Bの数値が教職員では91%、保護者では90%、生徒では87%と高い数値をいただいています。その背景には式典後に表彰状の伝達式や壮行会・報告会が盛んに行われていることや学校行事の際に多数のクラブ生が協力していることが考えられます。ただ、本年度は緊急事態宣言等の影響でクラブ活動をしてよい期間が生徒にはわかりづらかったことが反省点です。次年度以降、より本校のクラブ活動の魅力を伝えることができるように、一層努力したいと思います。

## 学校教育自己診断アンケートの結果と分析 [令和3年度実施分]

●【総括】 令和3年度に関しては、コロナ禍への対応と「オンライン授業」体制の進捗状況についての改善と反省が挙げられる。

令和3年度も大阪府の「緊急事態宣言」「まん延防止重点措置」の発令、およびその禁止条項の順守のため、予定していたいくつかの学校行事の中止・延期・規模縮小を余儀なくされた。文化祭・保育フェスタ中止、修学旅行延期などとなって、学校行事に対する自己評価アンケートの肯定的評価(Aよく当てはまる+Bやや当てはまる)の割合は、下記のように例年より低いものとなっている。しかし3年は2月に1泊2日の教員引率による希望者対象の南紀白浜旅行を企画し、卒業前に宿泊旅行の思い出を実現させた。

1 [有意義で生徒が楽しめるよう考えている] 教員 52% 2 [積極的に参加できる工夫がある] 生徒 76%

一方昨年度からの懸案であった、リモート・オンライン授業の実施については年度初めから次のように段階的に取り組んだ。

4月25日学年別の分散登校にて、生徒向けの端末機設定についての登録説明を実施。

5月から新型コロナウイルス感染症の陽性者(軽症者)、濃厚接触者(自宅療養者)やコロナ不安による<長期欠席者>を対象に、特別時間割を組んでオンライン授業を開始(1コマ30分・1日連続4コマを上限)した。この補講は対象者がいなくなる6月中旬まで続けた。夏休み期間の7月27～31日、看護系進学コース全学年の進学講習をオンラインで実施した。

2学期、再び上記<長期欠席者>を対象に9月下旬から10月末まで、特別時間割によるオンライン授業を再開した。

受信がうまくいかないと生徒から学校へ電話がかかってくる、電話で登録操作を指示しながらの授業になるなど、初期の頃は小さなトラブルが続いたが、2学期からは教員側も時間配分のコツをつかんだのか、円滑にオンライン授業を進めることができていた。

今後の課題は、受講生徒の学年・コースによって異なるカリキュラムについて、平常とは異なる時間割を各担当教員の空き時間にうまくはまるように時間割を組む効率的な方法の模索である。登校している生徒に行っている通常授業を、そのまま配信するのが有効なのか、この年度のようにオンライン向けに特化したプログラムを配信する方が教育効果を期待できるのか、引き続き教員たちと生徒の感想と意見交換を精査しながら、「文明の利器」の効用を高めていきたい。

●【学校運営・特色・学校設備関連】 肯定的評価の割合

1 [各分掌や委員会、学年間の連携は円滑に機能している] 教員 82%

2 [他校にない特色、独自性がある] 生徒 90% 保護者 91%

3 [学校生活は全般的に楽しく充実している] 生徒 74% 保護者 84%

4 [設備、ICT機器などうまく活用されている] 生徒 82% 保護者 93% [ICT機器を意欲的に研究実践している] 教員 76%

1 各部署間の意思の疎通や制度としての機能性は良好と思われる。が、時勢に適合した新しい組織力が必要とされる際の、柔軟な変化も視野に入れていく。2 本校独自の取り組みに対する肯定的評価は、近年ありがたいことに90%前後を維持している。この数値が、一定の評価を得られるような女子高カラーを作り出そうという、教職員の原動力となっている。3 新型コロナウイルス感染予防策のため学校生活が制約された中の割合としては高い方かもしれないが、コロナ禍を脱した折にはぜひ80%台の満足度に復するよう心して運営に臨みたい。4 教室でのプロジェクター使用による授業の開始、一部対象ではあるもののオンライン授業の実施、講堂での行事の各教室への映像配信など、新たな変化・導入が好評価につながったと思われる。しかし教員の自己評価が70%台に留まっているのは、ICT機器をフルに活用できていない、まだまだ使いこなす余地が多くあるとの認識の現れと見られる。

●【学習・進路指導関連】 肯定的評価の割合

1 [先生の授業の内容・話し方はわかりやすい] 生徒 75%

2 [授業を通して知識・技能が身についたと思える] 保護者 81%

3 [進路について適性に合った丁寧な指導が行われている] 生徒 79% 保護者 78% 教員 88%

1 授業理解に対する肯定的評価は前年度66%と比較すると向上している。授業中の理解度確認の声掛け、振り返りを励行するよう多くの教員が努めた結果ではないか。しかし8割に満たない評価である以上、生徒の意欲・関心をいかに刺激し学習効果を上げるのかについて、教授方法を見直す姿勢を堅持していきたい。2 の保護者の満足度は、察するにコース・エリアの特色ある授業や内容についての習得に対する好評価と思われる。3 の進路指導についての満足度は昨年度より微増している。これは同じコロナ禍でありながら前年度よりも、進学ガイダンスの形態を変えたり、少人数ずつ実施したり、進路指導部から「進路だより」を毎月配布したりするなど、工夫して実施できたからと推測できる。

●【生活指導関連】 肯定的評価の割合

1 [家庭との連携、認識の共有ができています] 教員 91%

2 [学校の遅刻、服装、スマホ等の方針に納得できる] 保護者 74%

3 [いじめや問題行動に真剣に対応している] 生徒 77% 保護者 82% 教員 91%

1 教員サイドの、家庭との生活指導面での連携意識の高さがうかがえ、実際に事案が起こった際の家庭とのやりとり、報告などにおいて比較的円滑にご理解いただいている手応えを感じているようである。2 について、例えばこの年度でもご意見のあった「登下校時もスマホ電源をオフにさせるのはおかしい」というのは、すでに令和2年度から「校内ではオフ。校外では電源を入れ、家庭との緊急の通信OK」と全生徒に下ろしており、3年度において生徒には周知されているが、全家庭に知れ渡るまで根気強く機会を見つけて発信していく。3 のいじめについては、毅然とした対応で初期のサインを見逃さないよう全教職員が意識しているが、シグナルを発信する生徒側の意識との間に多少のギャップがある。もっと積極的に生徒にふだんから関わり、信頼感を育てることに心を配る必要がある。

●【その他の活動関連】 肯定的評価の割合

1 [生徒の状況・様子について必要十分な連絡報告が来る] 保護者 81%

2 [生徒の人権・プライバシーが尊重されている] 保護者 88%

3 [学校は命の大切さ、社会のルールを守る意識を育てている] 生徒 87% 保護者 91%

4 [クラブ活動は活発で積極的に行われている] 生徒 87%

1 上記の生活指導面での教員サイドの意識とも関連する、保護者サイドの評価も比較的高い。また2の生徒個人の特性や人間性を重んじる基本姿勢が伝わっているこの高評価も維持していかないといけない。3は本校の教育方針の根幹である部分なので、特に式典時の講話などを通じて強く生徒に説いているのも効果があるのかもしれない。4は、コロナ禍における部活動制限(合宿・遠征の禁止、近接・接触行為の忌避など)のあった中でのこの80%台は、いかに限られた活動時間・内容であっても、打ち込みたいクラブに対する生徒の熱情・熱量はさほど衰えないという、ある意味頼もしくもあり、生徒に教えられた感もある、滋味深い数値である。

## 学校評価委員会からの意見

●【総括・学校運営・特色】 ・オンライン授業も万能ではなく、対面授業ならではの利点も多い。両者の功罪をバランスよく行うとよいのでは。・女子校としての魅力が上手に宣伝されていて興味を抱きやすい雰囲気がある。・学校がトータルとして楽しいという生徒は多い方だと思う。・先生もICT操作に慣れてほしい。

●【学習・進路指導関連】 ・授業のわかりやすさは先生によってバラツキがあると思われる。・経験値の高い先生からのアドバイスが効果的ではないか。・学力の定着は繰り返すことが大事、実力テストの振り返り時間はいいと思う。・進路説明会は規模の大小を問わずに実施してもらいたい。保護者対象説明会をリモートで設定してもらえると助かる。

●【生活指導関連】 ・注意の仕方がうまい先生とそうでない先生がいてはトラブルのもと。毅然と説得力のある言葉で注意すべきは注意してほしい。・友人間の仲たがいであっても学校が把握したら家庭に連絡しているのはありがたい。・電車内でのスマホ通話は迷惑行為になりかねないので是非指導を。●【その他の活動関連】 ・自分の人権と他者の人権をともに肯定できるような教育を求めたい。・クラブ活動はりっぱな自己表現に当たる。コロナ禍は辛かったと思うが、意欲のある部員たちを学校も応援してあげて。

## 保護者記入欄より

宣真高校へ入学させていただいて、とても良かったです。
卒業旅行についての説明が不足している。
3年間楽しく高校生活を送れたようです。ありがとうございました。
授業中うるさい生徒がいるようで、集中できない時がある。
C・Dを付けた項目もありますが、あまり良く知らないということでもあります。益々の学校生活が充実されますことを願っています。よろしくお願いいたします。
コロナ感染予防のため仕方がないですが、宣真でしかできない経験ができないのが残念です。1つでも多くの経験をお願いします。
強化クラブがあるわりに体育館が古い、そして空調もない。
土曜授業は毎週なくてもいいと思います。学校の登校時の携帯使用を認めてもらいたいです。(緊急時に対応できないと困るので)
今後に備えてオンライン授業を導入した方が良い。
修学旅行時のスマホを使用させてほしい。コロナ禍で楽しい思い出作りができていない。写真もないのは寂しすぎます。
スマホの使用、もう少し考えていただきたいです。自転車での下校、たまに横並びでめちゃくちゃ邪魔な子たちをみかけます。制服を来ているのであ～宣真か～と悲しくなります。
体育館にもエアコン等があればと思います。
スマホを学校の行き帰りは使用可能にさせていただきたい。
登下校でのスマホ使用禁止は納得できません。登下校時に緊急(家族の事故など)な時に今の時代連絡が取れないのは、おかしいと思います。検討をお願いします。(禁止・禁止ばかりではなく、使い方の指導を徹底してください。)
ランチルームに電子レンジやお湯を置いてほしいです。登下校中の自前(上着)をOKとして頂きたい。行事の時のスマートフォンでのカメラを使用させてほしいと思います。
先生が好意を持っている生徒にニックネームで読んだり特別扱いするのをやめてください。平等にしてください。
スマホの電源についてですが、校外では電源ONにさせていただきたいと思います。緊急時(家庭内での)に連絡がとれず、困った事がありました。基本的にはLINEで連絡をとりあっていますが、電話連絡が必要な時もあります。よろしくお願いいたします。
休校または、学級閉鎖時において、オンライン授業の確立を早くしていただきたいです。コロナ禍において、ほとんどの行事が削られている為、せめて修学旅行は一生の思い出になる様な企画があれば願います。
コロナ禍で大変な中、色々考えて学校生活が楽しく過ごせるように考えていただいて、ありがとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
いじめや、仲間割れのような介入しにくいデリケートな部分を丁寧、的確に納得のいくまで動いてくれた。娘の障がい特性を理解してくれた。
毎日の過ごし方がわかるようにブログのように1日数回HPにアップしてほしいです。
質問内容が子どもに当てはまらず、評価が低い部分もありますが、丁寧な教育のご対応のおかげで、楽しく頑張って登校しています。お世話になり、ありがとうございます。
コロナ禍の中では仕方がないのですが、今のクラスで全然思い出が作れていないと悲しんでおります。本人は今のクラスで来年も過ごして思い出を作りたいと思っているようです。